

人を対象とする医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を、大阪はびきの医療センター医学研究倫理委員会の審査を受け、施設長の承認を得て実施しております。この研究は、「人を対象とする生命医学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、研究に使用してほしくない等の申出を行うことを理由として、診療で不利益を受けることはありません。

記

研究課題名 (公開用課題名)	閉経後結核性子宮留膿腫の3例
研究機関代表研究者 所属・氏名	【研究代表者氏名・所属機関】 大阪はびきの医療センター 感染症内科・医員 前田恭平
研究概要 (意義、目的、方法等)	【研究の意義・目的】 性器結核は女性の入院患者の0.002-0.56%に発症し、性器結核の0.5-2.5%に子宮留膿腫を来すとされ非常にまれである。当センターで20年間に経験した閉経後結核性子宮留膿腫3例を検討し、その特徴を学会に報告することで医学水準の向上につなげる 【試料・情報を第三者に提供する方法】 症例報告 報告先:学会誌「結核」
研究実施期間	倫理審査委員会承認後から2024年12月31日まで
研究対象者 (研究対象者が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	2005年1月1日～2024年12月31日の期間に、感染症内科で閉経後結核性子宮留膿腫の治療を受けた症例3例
利用する試料・情報	【利用・提供する試料】 無し 【利用・提供する情報】 患者背景(年齢、性別、現病歴、既往歴、合併症、薬歴、嗜好品、家族歴、妊娠歴、月経歴) 細菌学的検査値(抗酸菌塗抹、培養、結核PCR) 画像検査(胸部X線、胸腹部造影CT、腹部MRI)

	治療内容(治療経過、抗結核薬、副作用、外科処置)
利用する試料・情報の取得の方法	電子カルテから後方視的に取得する。
利用を開始する予定日	2024年7月1日
試料・情報の管理責任者	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター 感染症内科・医員 前田 恭平
試料・情報を利用する機関	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター 院長 山口 誓司
研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法	本研究の研究対象者等が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。以下の問い合わせ先にご連絡ください。
個人情報の取扱い	情報の保存の際には、個人が特定できないような匿名化連結番号を使用し、ネットワークから切り離されたパソコンおよび電子媒体に保管します。研究終了後は、5年間情報を保管し、保管期間終了後は復元不可能な方法で適切に情報を廃棄します。 なお、将来研究結果を学会・論文等で公開することがありますが、その場合も個人が特定できない方法で行います。
個人情報の開示に係る手続き 研究参加拒否の連絡先	下記問い合わせ先へお問い合わせください。 なお、試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外致します。参加拒否申出を理由として診療で不利益を受けることはありません。ただし、研究実施上、既に個人が特定できない状態で研究結果を公開している場合など、除外できない場合があります。
問い合わせ先	〒558-8588 大阪府羽曳野市はびきの三丁目7番1号 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター 診療科:感染症内科 担当:医員 前田 恭平 TEL :072-957-2121(代表)